●発行／福島県広野町議会　〒979-0402　福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35　●編集／広野町議会広報委員会　TEL0240-27-4165（広野町議会事務局）

まちかどインタビュー

震災・原発事故から10年

皆さんの日々の課題や状況は？

震災と原発事故から10年が経過しました。10年間で町内の様子も様々に変化しましたが、町民の方に日々の課題や状況を伺いました。

鈴木　恵子さん
（福島市）

姑と夫を看取り、二人のいない自宅に一人で戻れない寂しさ、そして夫を看取った借り上げ住宅から離れられない思いで10年がたった。

でもまだ10年。

現在は福島市で仕事の看板を立ち上げ、又「絵おと芝居」の団員として震災を伝える訪問活動やNPO団体のボランティア活動をし、楽しんでいます。

写真は新宿公演のものです。

長年お世話になった広野町の皆様、お陰様で私は元気にしております。

また会える日を楽しみにしております。

坂本　絵理菜さん
（折木）

3・11から10年、幾度も厳しい状況に立たされながら、地域の医療を守るため高野病院は闘ってまいりました。

訪問診療・看護といった地域医療にも力を入れ、さらに地域に根差した医療機関を目指していた矢先、今般のコロナ禍が始まってしまいました。

しかし、高野前院長の意志を継ぎ、職員一同、粛々とこの町の医療を守るため尽力してまいります。

編集後記

昭和15年4月1日に広野町として町制を施行してから80年、東日本大震災より10年、そしてオリパラの聖火のスタートと歴史上の節目となる日々が過ぎて行く。

今の町の基礎を築いてくれた先輩の偉業に感謝をいたし、震災より復旧復興を目指し、新しい町並みが形成されている。

日々、行動の中で次の時代の町の姿を想い、自覚を持って今日を生きようと心している。

例年になく桜の花の咲くのが早い気候変動の激しい昨今であるが、大きな災害の無い年であってほしいものである。

コロナ禍の中ですが、最善の注意を払い過ごしてください。

（渡邉　正俊）

春を告げる桜

発行・編集責任者
議　長　北郷幹夫
広報委員会
委　員　長　阿部憲一
副委員長　渡邉正俊
委　員　小磯利雄
委　員　畑中大子
委　員　北郷伯弘

次の定例会は6月です

VEGETABLE OIL INK